



江戸の歴史・文化を活かした
観光の一層の推進に向けた
取組の方向性（案）



令和6年10月22日

江戸の歴史・文化を活かした観光を推進する意義

- 250年以上にわたる平和を築き、当時世界最大の人口を誇った江戸には、浮世絵など多彩な文化が花開き、水道インフラをはじめとする高度な土木技術も発展。今も息づく有形・無形の江戸の歴史・文化は、東京の貴重な魅力
- 東京の魅力を国内外にPRするアイコン・キャッチフレーズ「Tokyo Tokyo Old Meets New」は、江戸から続く伝統と最先端の文化が共存する東京の特色を表現しており、江戸の歴史・文化の活用は、東京の観光振興の大きな柱のひとつ
- 伝統文化等は東京の主要な観光資源となっているが、江戸の歴史・文化は多彩で奥深く、旅行者が十分に理解し楽しむためには、一層の工夫が必要
- 東京の観光を振興する上では、都民や事業者が地元の文化や歴史など地域の魅力に理解を深めることが大切であり、江戸の歴史・文化を効果的に活用し、東京への理解や愛着を高めていくことが重要

外国人旅行者が訪都中に行った行動（抜粋）

日本食を楽しむ	93.3%
ショッピング（服・服飾雑貨）	59.0%
伝統建築等の見学	51.9%
伝統文化の見学・体験	35.8%
最新の日本文化に触れる	33.1%
自然を感じる	32.5%

出典：
東京都「令和5年国・地域別外国人旅行者行動特性調査」

取組の方向性

東京の観光振興を考える有識者会議「江戸の歴史・文化部会」での議論等を踏まえ、以下の方向性により、江戸の歴史・文化を活かした観光を一層推進していく。

「江戸」を知る ～江戸の歴史・文化の魅力や価値を共有～

- 旅行者を東京へ迎える上では都民や事業者等が東京の歴史や文化に愛着を持つことが重要
- 江戸の歴史・文化の魅力や価値を共有し、東京への理解・愛着を醸成

「江戸」を発信する ～江戸の魅力・価値のPR強化～

- 世界でも有数の価値を有する「EDO」の魅力が強力に打ち出し
- 多種多様な江戸の歴史・文化の魅力を旅行者に伝える取組を充実

「江戸」を楽しむ ～江戸の歴史・文化を感じられる観光コンテンツの創出・活用～

- 都内各所の江戸観光スポットを楽しめるよう旅行者へのサポート等を充実
- 江戸をテーマとした観光の充実に向けて地域や事業者の取組を推進

1 「江戸」を知る ～江戸の歴史・文化の魅力や価値を共有～

江戸の歴史・文化の都民や事業者等との共有

- 旅行者を東京へ迎える上では、都民や事業者等が地元の文化や歴史等に理解を深め、東京への誇りと愛着を持つことが重要だが、今日の東京の礎である江戸の歴史・文化の魅力への理解は不十分
- 東京には、江戸時代から続く歴史や文化を伝える貴重な文化財が数多く存在し、住民が地元への愛着を深めるには、こうした文化財を効果的に活用して行くことが重要

江戸の街の成り立ちや、東京に今も息づく江戸の歴史・文化の魅力や価値などを共有する機会をつくとともに、地元の文化財等を活かした地域の観光振興の取組を支援

子供や若者が江戸の歴史・文化に親しむ機会の提供

- 将来にわたって、江戸の歴史・文化への都民の理解・愛着を育てていくには、未来を担う子供や若者が、「江戸」を身近に感じられるようにしていくことが大切

子供や若者、ファミリー向けに江戸文化に接するきっかけを作っていくとともに、デジタルコンテンツの活用等により、文化財への子供の興味・関心を喚起



江戸文化等の展示・体験イベント
(どこでもえどはく)

2 「江戸」を発信する ～江戸の魅力・価値のPR強化～

国際的な認知度の向上

- これまでもデジタル技術の活用などにより、江戸の魅力を積極的に発信
- 「江戸」の国際的な認知度の向上に向けて、その魅力を一層強く打ち出していくことが必要

→ 江戸の歴史・文化のPRを強化して世界の「EDO」として強力に印象づけ、江戸から続く伝統に関心を抱く旅行者の獲得を促進



Virtual Edo-Tokyo Edo Area

旅行者への発信の充実

- 江戸の歴史・文化は多種多彩であり、旅行者がその魅力の本質を理解し、楽しむためには、歴史的な背景や経緯など、“ストーリー”を丁寧に伝えていくことが大切
- 「江戸」を楽しむ観光の拠点である江戸東京博物館が、大規模改修工事を経て、今後再オープンする予定

→ 江戸の歴史・文化を感じられる建造物・スポットや江戸から続く伝統文化について、旅行者にわかりやすく紹介するコンテンツを用いて発信するとともに、江戸東京博物館のリニューアルオープンに向けたPRを行い旅行者の期待感を醸成

3 「江戸」を楽しむ ～江戸の歴史・文化を感じられる観光コンテンツの創出・活用～

旅行者による「江戸」の魅力の体験促進

- 東京に今も息づく江戸の歴史・文化は、神社仏閣・史跡や土木遺構、浮世絵に描かれたスポットなど多種多様
- 東京ばかりでなく日本各地にも、江戸時代の文化等を感じられる観光地が多数存在
- 奥深い魅力を秘めた庭園を、旅行者が江戸の歴史・文化を感じられる観光スポットとして活用していくことが大切



大名庭園（六義園）

→ 都内各地の名所の回遊を、デジタル技術を活用したツールによりサポートするほか、日本各地と連携して江戸時代をテーマとした観光スポット等を発信し、周遊を推進
また、旅行者が文化財庭園の魅力を感じられる催し等を展開

地域や事業者による取組の推進

- 江戸の風情を東京の魅力として根付かせるには街単位での具体的なイメージ作り等の取組が有効
- 「江戸」を楽しむ観光の推進には、江戸をテーマとした多様な旅行商品が提供されることが必要

→ 江戸の情緒を感じられる街並みを創出する地域の取組を支援するとともに、旅行事業者等が江戸の歴史・文化について知見を深める機会の提供や、魅力ある観光ルートの開発支援などにより、効果的な誘客を推進